

イノシシの出没にご注意ください！

近年、市内においてイノシシによる被害・痕跡が多く確認されています。

里山付近での目撃・痕跡も確認されていることから、イノシシを見かけた場合は次の事項に注意し、落ち着いて行動してください。

他県においては、イノシシによる人身被害が発生していることから、油断は禁物です。



イノシシに出会ったら

イノシシは本来、警戒心が強く、臆病な性格をもっています。そのため、イノシシは人に出会っても襲いかかってくることはほとんどありませんが、イノシシが興奮しているときや発情期、至近距離で偶然人に出くわしたときなどは注意が必要です。

(1) 落ち着いて行動してください

イノシシに出会ったら、静かにその場を離れるようにしましょう。急に走り出してイノシシを興奮させないでください。イノシシが興奮している場合は、後ろを向くと襲ってくることもあるので、なるべく背中を見せないよう、ゆっくりと後退するようにしましょう。

(2) イノシシを刺激、興奮させないでください

イノシシに出会ったときに、大声を出したり、棒を振り上げたり、物を投げたりすると、イノシシが興奮して人を襲う可能性がありますので、イノシシを刺激しないでください。

また、ウリ坊を見かけても、近づいたり追いかけてまわしたりしないでください。近くに母イノシシがいる可能性が高いです。

(3) どうしても接近を避けられない場合は

人間がいる方向にしか逃げ場所がない場合は接近してくる場合があります。接近が避けられない場合は、イノシシの逃げ道を確保しつつ、安全な場所へ避難しましょう。

イノシシから人間が見えない場所やイノシシが簡単に登れない場所が有効です。

イノシシが興奮しているサインを見逃さない！

次の事項では、イノシシが興奮している状態です。襲いかかってくる場合があるので、すぐにその場から離れてください。

- ①口から、シュー、カッカカッ、クチャクチャと威嚇音を鳴らしている
- ②たてがみを逆立てている
- ③慌ただしく走り回っている
- ④脚で地面を引っかいている

イノシシに出会わないために

イノシシに出会わないためには、人間の存在をイノシシに知らせることが大切です。また、人間の生活圏にイノシシを近づけないことが必要です。次の事項に注意してください。

(1)人間の存在を知らせる

- ①鈴を付けるなど音で知らせましょう。ラジオなども有効です。
- ②夕方や夜間に外出する場合は、懐中電灯などの光で知らせましょう。

(2)エサを与えない

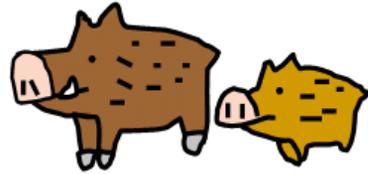
①餌付けをしない

たとえ子どものイノシシであっても、エサは絶対に与えないでください。人間を怖がらなくなり、人が食べ物の供給源だと学習させることにつながります。

他県で発生しているイノシシによる人身被害の発生は、人間による餌付けが原因であると言われています。

②イノシシのエサ場を作らない

家庭菜園や田畑周りに収穫残渣を放置しないでください。イノシシがエサ場として認識してしまいます。



その他注意事項

小さなお子様をお持ちの方

イノシシは人を襲うことはほとんどありませんが、子どもがおもしろがって石を投げたりする行為はイノシシを興奮させる大変危険な行為となります。

お子様には、そのような行為をしないようご指導をお願いいたします。

犬を飼っている方

犬を連れてしていると猟犬と勘違いして襲ってくる場合があります。

次の事項に注意してください。

- ①イノシシが向かってきたときは、犬を離してください。
- ②散歩中は、リードをはずさないでください。

お問い合わせ

氷見市建設農林水産部農林畜産・いのしし等対策課

TEL.0766-74-8086 FAX.0766-74-1447